

自立活動だより No. 7

平成31年1月11日
大宮ろう学園 自立活動部

高等部自立活動の取り組み

去る12月14日に特別講演会を行った。講師はシュアールグループ代表、手話通訳士の大木洵人氏、「手話×テクノロジーで社会が変わる」をテーマに本科Aコースと専攻科の生徒にご講演いただいた。

手話との出会いは、中学2年のとき、テレビで「みんなの手話」を見て手話の美しさに気が付いた。しかし、周りに手話を学ぶ機会がなかった。大学進学後、友人と手話を始めて手話サークル「I`m 手話」を立ち上げ、2007年12月31日NHK紅白歌合戦に、大学の先輩である一青窈さんの「手話コーラス」で出演した。そして、手話の娯楽を作りたいと考え、手話による旅番組の制作を開始、ろう者と旅に出た。そこで、手話の娯楽がない以上に変なことがあることに気が付いた。110、119ができない、通訳の予約が大変で病院に行くのを我慢する、電車内のアナウンスが聞こえない等。これらを解決しようと2008年11月株式会社シュアールを設立した。主な事業内容の『遠隔手話通訳サービス』とは、インターネットのビデオ通話を使って、PCやタブレットを通して、遠隔にいる手話オペレーターとリアルタイムに会話ができるサービスである。お店の対面カウンターやコールセンターに問い合わせしたいとき等に利用されている。JR山手線内、成田空港、ゾフ(メガネ)、AOKI(スーツ)、JAL(航空会社)など、全国1000か所以上に導入されている。また、NPO法人シュアールでは、手話やろう文化の普及活動を中心に行っている。お笑いタレントデフWの「聞こえないあるある」の動画に、生徒たちは大笑いしていた。生徒たちにとって、社会資源についての知識を深め、積極的に社会参加することの大切さを理解できた良い機会となった。



大木洵人氏（経歴）

1987年生まれ。群馬県出身。大学在学中にシュアールを設立。2013年、手話通訳士取得。遠隔手話通訳やオンライン手話辞典等ITを駆使した手話サービスを展開し、国内外で注目を集める企業家として活躍中。